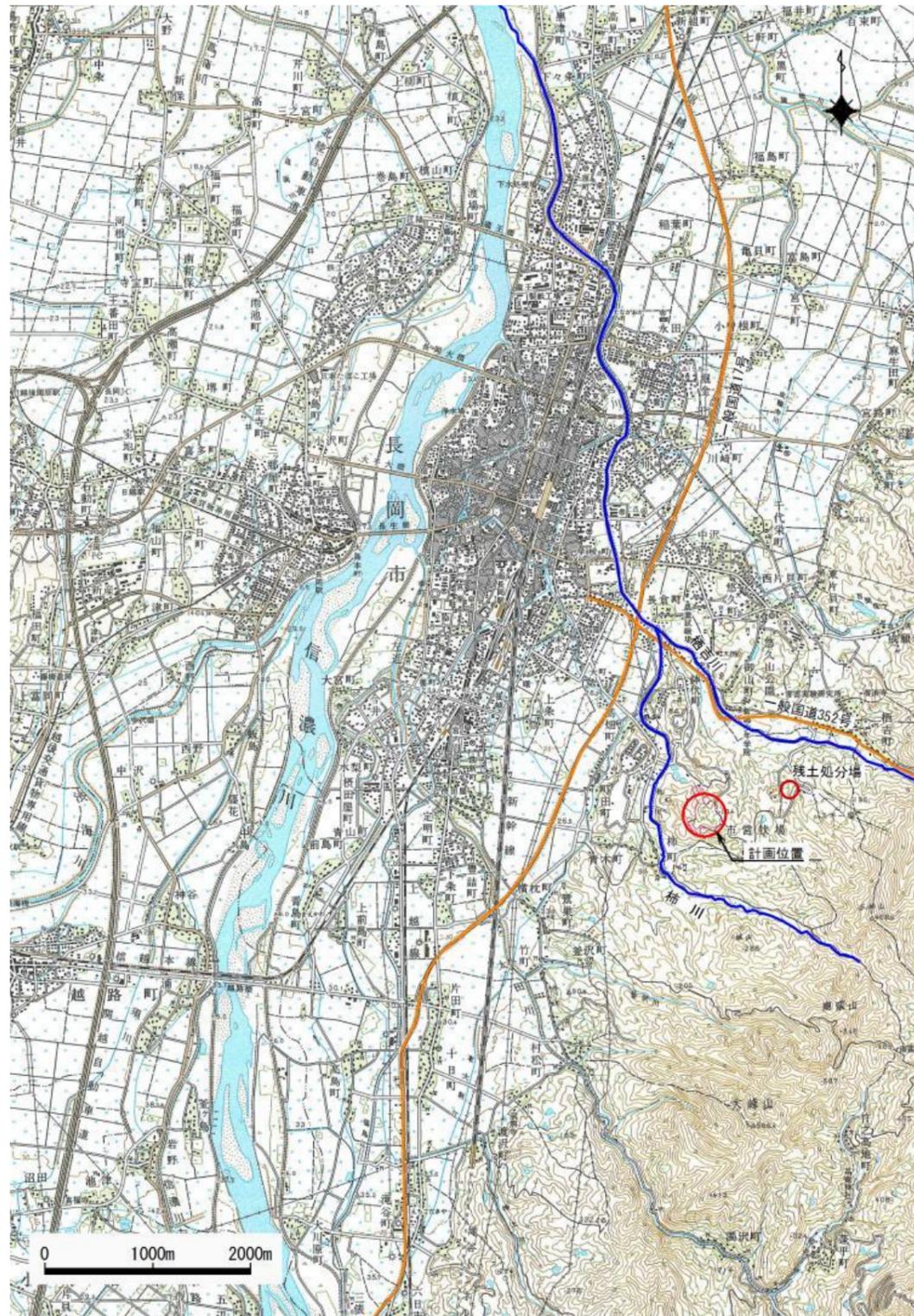


位置図



長岡市新一般廃棄物最終処分場(仮称)施設整備方針と概要図

施設整備方針

安全・安心な施設

- ・貯留構造物は、強固な鉄筋コンクリート造で内部に遮水シートを張り、埋立廃棄物や浸出水を流出させません。
- ・被覆施設(屋根付き)を設けることで、埋立廃棄物の飛散を防ぎ、降雨等の影響を受けずに人工的に散水することにより、浸出水の質・量ともに管理し、計画的に埋立廃棄物の安定化・無害化を図ります。
- ・散水により発生した浸出水は、既存の施設で処理した後、公共下水道へ放流します。このため、河川などの周辺環境に影響を与えません。

自然環境と調和する施設

- ・被覆施設は景観法に基づき色彩や敷地内の緑化に配慮し、自然環境に溶け込んだ施設を目指します。
- ・生活環境や自然環境を保全するため、モニタリング施設を整備します。

経済性に優れた施設

- ・貯留構造物を3分割にし、その1区画分に被覆施設を設けます。屋根を膜構造の落雪式として軽量化を図り、埋立の進捗に応じて屋根を移動することで、施設をコンパクトにします。
- ・環境面及び安全性に十分配慮した上で、浸出水処理施設や管理施設など、既存施設を利用します。

